



第41回 Kyoto演劇フェスティバル

京都府立文化芸術会館 開館50周年記念

2020年2月8日(土)⇒16日(日)

京都府立文化芸術会館

市バス府立医大病院前下車 TEL.075-222-1046

2月8日(土)

- ・Falling Star Showcase [ダンスミュージカル/京都市]
- ・市民劇団O²劇場 [演劇/大津市]
- ・ユニットあくび [演劇/宇治市]
- ・幻灯劇場 [演劇/京都市]

2月9日(日)

- ・洛星中学校 演劇部 [演劇/京都市]
- ・福知山淑徳高等学校 人形劇講座 [人形劇/福知山市]
- ・ちゃんばらCLUB喜怒哀楽 [演劇/京都市]
- ・ルサンチカ [演劇/東京都]

2月11日(火・祝)

- ・五蓮座 [読み語り/奈良市]
- ・夕づるの会 [人形劇/枚方市]
- ・プラットホーム広小路 [演劇/京都市]
- ・京都西陣創造集団アノニム [演劇/京都市]

2月15日(土)

- ・たまため1/3 [人形劇/八幡市]
- ・人形劇団ダブダブ [人形劇/東近江市]
- ・人形芝居黒ずきん [人形劇/京都市]
- ・ひとり人形劇まる [人形劇/長岡京市]
- ・人形劇ユニットぶくぶく [人形劇/京田辺市]
- ・洛星高等学校 演劇部 [演劇/京都市]
- ・劇団あしたの会 [演劇/京都市]

2月16日(日)

- ・人形劇ファミリー ひみちゃたい [人形劇/京都市]
- ・パペットてなもんや [人形劇/京都市]
- ・ひらひら人形劇場 [人形劇/京田辺市]
- ・みかんの木文庫 [人形劇/福知山市]
- ・宇治っ子朗読劇団☆Genji [朗読劇/宇治市]
- ・児童劇団やまびこ座 [演劇/京都市]
- ・劇団トム論 [演劇/京都市]

まえ続けて



【主催】京都府、指定管理者 創、Kyoto演劇フェスティバル実行委員会

【後援】京都新聞、毎日新聞京都支局、朝日新聞京都総局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都府教育委員会、京都市教育委員会

【協力】京都児童青少年演劇協会、京都市人形劇センター、京都府高等学校演劇連盟、京都市中学校教育研究会演劇部会、京都労演

2月8日[土] 13:00開場

13:30～ **ダンスミュージカル** 小学高学年
～一般成人

Falling Star Showcase 「アイデンティティ」

「自分は何者なのか・自分のやりたい事は何か?」自分で決めているようで実は誰かにコントロールされているだけなのでは? 繰り返される日常の中で忍び寄る管理体制の世の中を問う。

小～高校生までの子ども達が全力で届けるダンスミュージカル! かつて「子ども」だった大人にも届けたい。「あなたは自分の人生を生きていますか?」



幕間トーク

2月9日[日] 13:00開場

13:30～ **演劇** 中学生
～一般成人

洛星中学校 演劇部 「完成した時には空は明るかった」

招待公演

洛星中学校演劇部です。昨年に続き上演の機会を頂きうれしく思っています! 今年度は中3が2人、中2が5人の計7人で活動しています。

お芝居は、中学校の演劇部での出会いを通じて成長する男子生徒の物語です。高校の先輩方にまけないくらいに熱い気持ちで頑張りますので、ぜひご覧ください!



幕間トーク

ホールプログラム①

市民劇団O²劇場 「一号棟一階南角にその保健室はある」

お隣の大津を拠点に活動する劇団です。3回目の演フェスです。よろしくお願いたします。

舞台はある公立中学校の保健室。そこに先生たちが何やら集まってくる。教師や生徒、そして教育が抱える問題、さらには自分とは何かを扱った作品。先生だって色々。教師って? 生徒って? 教育って? そもそも私って誰なんだ?

14:40～ **演劇** 小学高学年
～一般成人



幕間トーク

14:20～ **人形劇** 未就学児童
～一般成人

招待公演 福知山淑徳高等学校 人形劇講座 「なにができるかな!？」

*てとてとて *〇まる△さんかく□しかく
*マンボでランチ

「〇と△と□」で? 「てとてとて」で? 「ウイナーとタマゴとそれからそれから」で?。ねえねえ、なにができるかな? みんなで考え、閃き、動いて、ようやく形になりました。

観ていただく方々の笑顔に出会いたくて、生徒6人と先生1人、週2時間の授業と放課後の活動をしています。



幕間トーク

ホールプログラム②

16:00～ **演劇** 小学高学年
～一般成人

ユニットあくび 「時を越えて～君を守れるか～」

こんにちは! 「ユニットあくび」です。昨年の記念公演で知り合った12名+αが所属団体の垣根を越えて演フェスに再挑戦します。

作品の舞台は、とある喫茶店兼結婚相談所。そこに集う客達と御近所さんが巻き起こす騒動。結婚とは? 夫婦の愛とは? 一人暮らしの老後は? 喫茶店の中に中高年の溜息と、幽霊のぼやきが聞こえる。



幕間トーク

ちゃんばらCLUB 喜怒哀楽 「守護戦記～いつもそばに～」

ある日の交差点、女子高生みずきが車と衝突する寸前、間一髪のところを助けてくれたのは知らない初老の男。二人が目覚めたのは…戦国時代?

人間の喜び、怒り、哀しみ、楽しみ様々な思いを刀に込めた『ちゃんばらCLUB喜怒哀楽』のお芝居と殺陣を、ぜひご堪能ください!

15:10～ **演劇** 小学高学年
～一般成人



幕間トーク

ホールプログラム③

幻灯劇場 「0番地」

U30

17:20～ **演劇** 高校生
～一般成人

幻灯劇場が劇団員・総勢18名でお送りするU30支援プログラム第二弾は「ファッション」と「民族」と「カラコン」にまつわる群像劇です。

大陸が一つに繋がっていた時代に想いを馳せながら、八つの島に分断された時代の日本を描いていきます。

全編生演奏でお送りする60分、この世でたった一度きりの上演。



幕間トーク

16:30～ **演劇** 高校生
～一般成人

U30

ルサンチカ 「SO LONG GOODBYE」

本作品は多種多様の職業、様々な年齢の人々に実際にインタビューを行い演劇作品を制作します。

【仕事】についてを中心にインタビューを行い、それらをテキストにして上演を図ります。

私たちは何のために仕事(生活)をしていると言えるのだろうか。今の私たちが考えられる働き方を観客とともに考えます。



幕間トーク

ホールプログラム④

劇フェスティバル 開催スケジュール

2月11日[祝・火] 13:00開場

13:30～ 読み語り 小学高学年～一般成人



五蓮座 「とことわの桜」

土の中から芽を出した桜の弥生姫。満開の花を咲かせ、生き物たちを喜ばせます。月日は流れ、弥生姫に老いがやってきました…。

ぬいぐるみ絵本の映像を投影しながら、歌やピアノの即興演奏に合わせて俳優陣が読み語りをします。命をテーマにした物語を、五感で味わう新感覚の舞台でお楽しみください。

幕間トーク

2月15日[土] 13:00開場

午前中に
3階和室にて
人形劇公演あり

13:30～ 人形劇 未就学児童～一般成人



ひとり人形劇まる 「たのきゅう」

今年でまるも旗揚げから27年になります。「たのきゅう」は26年前の新作ですが京都演フェスの前身の京都演劇祭(コンクール)で大賞を頂いた作品です。

何もわからない中 只「やりたい」という想いだけで創った作品です(笑)。大人も子供も楽しんで頂けたら幸いです。

幕間トーク

夕づるの会

七ヶ伝説より

「宇宙の愛」-天の川ものごと

自分の考えをイキイキと話し、力強く生きる織姫、その行動力に驚きながらもひかれていく彦星、天上界の掟までもまげさせてしまう若い二人の純真な恋心。年に一度の逢瀬のために残りの日々をそれぞれが自分の仕事に励み、楽しく生きていく姿。

人形劇と影絵をコラボさせるという新しい表現に挑戦しました。

14:40～ 人形劇 未就学児童～一般成人



幕間トーク

14:20～ 人形劇 未就学児童～一般成人



人形劇ユニットぷくぷく 「3びきのこぶた」ほか

♪ブーブーブーと歌いながらの登場で、皆さんよくご存知のお話が始まります。ぶたもオオカミもいっしょうけんめい、そして私たちも!!

人形劇団から公演の度に出演者を募るユニットになって5年目、初めての出演です。

おまけの作品もお楽しみください。

幕間トーク

15:40～ 演劇 高校生～一般成人



プラットホーム広小路 「歌が…聞こえる!」

西陣。機織りの音も消えた。19歳で飛び出した姉が、79歳で突然バリから帰朝。唇から歌は消えない。閉じ籠り35歳の長男は、おばさんの活力に魅せられて心を開く。僕も生き直したい。両親、初めて安堵。歌うはあの「青い山脈」。年に1作・創作劇。「プラットホーム広小路」で次の作品を作りましょう。一緒に。出来ます!

幕間トーク

洛星高等学校 演劇部 「とりでのむこう」招待公演

舞台とはある学校のコンピュータールーム。補習で呼ばれた男子生徒たちは、課題をすどころか「イズミさん」という女子高生とSNSでいちゃつくばかり。SNSでしか話したことのない彼らは「イズミさん」の姿に思いをはせるが、その正体は…?

すごく笑って少し泣ける60分を、ぜひお楽しみください。

15:20～ 演劇 中学生～一般成人



幕間トーク

京都西陣 創造集団アノニム 「例外と原則」

商人が石油発掘の利権獲得のために苦力と案内人を雇って砂漠に行く。目的地にいち早く着くため商人は苦力に過酷な労働を強いとうえ射殺してしまう。苦力の妻が告訴し裁判が開かれる。裁判の行方は? 何が「例外」で何が「原則」なのか?

アノニムは西陣で旗揚げして35年目。演フェスには1987年から参加しています。

17:00～ 演劇 小学高学年～一般成人



幕間トーク

16:40～ 演劇 小学高学年～一般成人



劇団あしたの会 「歩きはじめる時」

～昭和三十八年 日本で最初の
手話サークル誕生物語～

結成25年。ろう者と聴者が共に芝居創りをしている私たち。今回は久々の地元京都公演です。

「歩きはじめる時」は、「手話言語」を、殆どの人が知らなかった昭和38年。京都のとある総合病院の病室が舞台。一人の看護学生の情熱が、こんにちの手話サークル発展の先駆けとなりました。その最初の一步を描いています。

幕間トーク

京都の舞台芸術を
支え続けて半世紀

Since
1970.1.8~

祝 文化芸術会館 開館五十周年

2月16日[日] 13:00開場

午前中に
3階和室にて
人形劇公演あり

13:30~ 人形劇 未就学児童
~一般成人



みかんの木文庫 「イソップ イソップ」

みかんの木文庫は小さな家庭文庫です。本やお話だけでなく、本から飛び出した人形劇も届けます。

イソップが伝えてくれる知恵のいくつかを、身近な素材で表現してみました。段ボール、たわし、タオル、おたま、泡だて器などなど。本の中とは少し違った味わい、ご賞味あれ。

幕間トーク

宇治っ子朗読劇団☆Genji 源氏物語より「若紫」

14:20~ 朗読劇 未就学児童
~一般成人



宇治に関わりの深い古典「源氏物語」を未来に伝えていくため、宇治市文化センターで活動し8期目を迎えます。今年度は小中学生17名が参加し、現代語に訳した源氏物語を楽しく学んでいます。

今回は、光源氏の妻となった紫上の少女時代のお話「若紫」(第5帖)をお届けします。華やかな平安衣装で演じる王朝物語をお楽しみください。

幕間トーク

15:30~ 演劇 未就学児童
~一般成人



児童劇団やまびこ座 「ぞうのはなし2020」

太平洋戦争の最中。各地の動物園では猛獣類の殺処分が行われました。

京都市動物園も例外ではありません。そんな中で猛獣類とされた「ぞう」を中心に物語をつむぎます。

現代の子ども達が、改めて戦争という行いと向き合います。

幕間トーク

劇団トム論 「岡田世界一周の旅」

招待公演

16:40~ 演劇 未就学児童
~一般成人



2019年9月に開催された「京都学生演劇祭2019」で審査員賞を受賞した作品を再演します。劇団員の岡田くんが2012年10月~2013年7月にかけて24カ国を世界一周したときのブログ「ぶらぶら」が原作です。ネットで検索したらブログが見つかるかもしれません。構成・演出は葛川さん。

幕間トーク

児童青少年のための特別企画

人形劇数珠つなぎ

会場 3階和室

2月15日[土] 11:00~13:30

たまたて1/3

「ミュージカル童謡part2」

人形劇団ダブダブ

「がんばれカーチャ」

人形芝居黒ずきん

「王さまのおたんじょうび」



2月16日[日] 11:00~13:30

人形劇ファミリーひみちやたい

「おおきなかぶ」ほか

パペットてなもんや

「トコトコ」 「赤坂の夜」

ひらひら人形劇場

「ねずみのすもう」



入場無料

ただし、演フェス入場券が必要です。お持ちでない場合は当日券をご購入のうえ、ご入場ください。(一般1,200円、高校生以下700円)

18:00~ 入場無料

第41回 演フェス 締めくくりイベント グランド・フィナーレ

全ての公演が終了した後は、演フェス締めくくりイベント、「グランド・フィナーレ」が賑々しく始まります。

- ◎参加全団体が再び舞台上に登場。
- ◎「観客賞」発表&受賞式。
- ◎大好評!「カンゲキ賞」発表&表彰。

などなど、多彩な内容で第41回演フェスを締めくくると共に、重大発表があるかもしれません。お見逃しなく!!

2月16日[日]は「京都マラソン2020」の開催により、京都市内で交通規制等が行われる可能性があります。詳しくは京都マラソン2020公式サイト(<https://kyoto-marathon.jp/>)で確認ください。

各プログラム紹介

公募公演 多彩な演技集団が集結する演フェスの屋台骨!

子どもから大人までが1日楽しめるフェスティバルを目指します。大人がじっくり堪能できる演劇から、家族で観て欲しい人形劇、そして幅広い世代が楽しめるミュージカル、ストレートプレイから娯楽大作まで、創作意欲に燃える作品が目白押しです。乞うご期待!!



2月8日[土]・9日[日]・11日[祝]・15日[土]・16日[日]

招待公演 京都の未来を担う若者たちからのメッセージ

京都演劇界の未来を担う中学・高校・大学からの推薦団体から熱演を披露します。

中学校 洛星中学校 演劇部[2月9日(日)]
 高等学校 福知山淑徳高等学校 人形劇講座[2月9日(日)]
 洛星高等学校 演劇部[2月15日(土)]
 大学 劇団トム論[2月16日(日)]



U30支援プログラム 更なる飛躍を目指す三年間!

この企画は、平均年齢が概ね30歳以下の団体を対象に、京都のみならず日本の演劇シーンで活躍する人材が生まれることを期待し、3年間の創造サポートを行う支援プログラムで、今回で2年目を迎えます。右記の2団体が研鑽を重ねて、更なる飛躍を目指します。

2月8日[土] 17時20分～ / 9日[日] 16時30分～



児童青少年のための特別企画 子どもが楽しめる企画が盛りだくさん!

人形劇数珠つなぎ

ホールが開場(13:30～)するまでの間、三階和室で子ども向けの人形劇の連続公演をお楽しみいただけます。

入場無料。ただし公募公演の入場券が必要です。

2月15日[土]11時～ / 2月16日[日]11時～ 会場/三階和室



ロビー企画 舞台以外も楽しめます。

劇団の紹介パネルのほか、今回は府内の演劇祭の紹介パネルなど、様々な企画展示をロビーで行っています。



2月8日[土]～16日[日]

関連企画 子どもから大人まで幅広い世代の皆さまの心に染み入る文化芸術会館オリジナルの音楽劇!

京都府立文化芸術会館会館
開館50周年記念事業

創造音楽劇

あしたの森のチコ

<なかにしよしを著「チコ～アニミズム会議の記録～」より>

音楽家 作曲/西邑由記子 クラリネット/上田 希 ヴァイオリン/石上真由子
 ピアノ/船橋美穂 ソプラノ/日紫喜恵美

俳優 しょーじ(劇団kocha) 池山説郎(ひらひら人形劇場) 小谷 常(人形劇団くじら)
 河合厚志(トイネスト・パーク) 安田 晋(ぼびふべバベット) 坂田さん吉
 くぬぎ森子(劇団虹色どんぐり)

ほか、公募による出演者や混声合唱団など多彩なキャスト陣でお届けします。

脚本
演出
中田達幸

京都府立文化芸術会館の開館50周年記念事業として「チコ～アニミズム会議の記録～」を初の舞台化! 絵本「ねずみくんのチョコッキ」などで知られる作家・なかにしよしをさんのメッセージ性の強い原作をもとに、文化芸術会館ならではのオリジナル音楽劇を目指し、プロの音楽家・俳優(演劇・人形劇)や一般公募によります10名のアンサンブルの皆さん、そして混声合唱団の皆さんが舞台を華々しく飾ります。

2月29日[土]18時～ / 3月1日[日]18時～

入場料金

プログラム	入場料金		備考
公募公演期間 (2/8・9・11・15・16) に行われる 全プログラム	1日券 その日のホール公演を 全て鑑賞できます。	高校生以下 前売 500円(当日 700円) — 一般 前売 1,000円(当日1,200円)	前売券の取扱い ◎公募公演期間の各参加団体 上演団体公演日の「1日券」を取扱っています。 ◎京都府立文化芸術会館窓口 全プログラムのチケットを取扱っています。 TEL 075(222)1046 [受付時間 9時～18時] ◎ローソンチケット ローソン・ミニストップ店内のLoppiで下記のLコード を入力してください。 ●[公募公演:53406] ●[あしたの森のチコ:56445] 入力後に発行されます「申し込み券」をレジカウンターで ご提出いただき、代金をお支払い後にチケットを お受け取りください。
	通し券 公募公演期間の 公演を全て鑑賞できます。	高校生以下 前売 1,000円(当日1,500円) — 一般 前売 2,000円(当日2,500円)	
	和室 2/15(土)・16(日)	児童青少年のための特別企画「人形劇 数珠つなぎ」は 入場無料です。(ただし、公募公演の入場券が必要です)	
創造音楽劇「あしたの森のチコ」 (2/29・3/1)	高校生以下 (4歳以上対象) 前売 1,000円(当日1,500円) — 一般 前売 2,000円(当日2,500円)		

Kyoto演劇フェスティバルについて

Kyoto演劇フェスティバル(演フェス)は、京都府内の劇団・人形劇団を対象に、日頃の活動成果を披露する場として、昭和54年(1979年)に産声をあげて以降、休むことなく開催を続けてまいりましたが、今回は開催会場の京都府立文化芸術会館の開館50周年事業として、第41回目を迎えることとなりました。

現在にいたるまで、地域で活動している団体の披露紹介だけでなく、全国に先がけて府民参加型の合同創作劇や朗読劇、短編連続上演などの非常に多彩な特別プログラムを行うなど、「子どもから大人まで楽しめるフェスティバル」として定着し、公立ホールが企画・運営を行う演劇祭として

全国有数の開催回数を誇り注目を集めています。子どもからシニア世代まで様々な人たちが関わり、延べ500団体以上が上演を行い、延べ30万人以上の観客に足を運んでいただくなど、毎回バラエティ豊かなプログラムで賑々しく開催しております。演劇・人形劇一色に染まる2月の文化芸術会館に是非とも足をお運びください。



公募による9歳~72歳の参加者50名による合同創作劇「百年のあくび」(第40回記念)

ごあいさつ



京都府知事
西脇 隆俊

京都の冬の演劇祭「Kyoto演劇フェスティバル」を、府民の皆様とともに今年も開催できますことを、大変嬉しく思います。

今回も公募公演、招待公演、そして関連企画の創造音楽劇など多彩なプログラムにより、子どもから大人まで世代を越えて参加でき、楽しめる内容となっております。昨年の第40回に、新たな10年に向けて取り組む課題として掲げた若い世代の育成と、京都府全域の演劇振興については、30歳以下の劇団を支援する「U30プログラム」や、「きょうと北部演劇まつり」との交流公演として発展継続されています。さらに、第40回記念特別企画の合同創作劇の出演者が、新たに劇団を立ち上げて今回出演されるなど、本フェスティバルへの参加を契機とする好循環も生まれ、府民参加・地域密着型の演劇祭として、着実に成果をあげてきています。

また今回は、京都府立文化芸術会館の開館50周年記念事業として開催します。本フェスティバルは、この文芸会館で産声を上げ、多くの方々を支えられて育ってまいりました。舞台に立った演劇関係者から高く評価されているこの会館において、今回もまた多くの方々から演劇の素晴らしさを体感し、交流の輪を広げていかれることを期待しております。

最後に、本フェスティバルの開催に協力し、応援していただいた方々に深く感謝申し上げます。



Kyoto演劇フェスティバル実行委員会
委員長
椋平 淳

「Kyoto演劇フェスティバル」の拠点である京都府立文化芸術会館は、日本初の国際万博が大阪で開催する直前の1970年1月8日に開館しました。50年後の現在、日本には2000館を超える文化施設がありますが、当時はまだ数えるほどしか存在せず、この会館は国内における文化施設の老舗の一つといえるでしょう。ただし当然ながら、当時の機能は今から思えば時代を映した旧式でした。つまり、中心は一般利用者への貸館であり、自主事業といえば新劇公演などの鑑賞機会提供がほとんどでした。

そこで1979年、より能動的な大型自主事業として、演フェスの前身「京都府演劇祭」が開催されます。以後40年、この演劇祭は名称だけでなくプログラム全体を大きく進化させ続け、近年は西脇京都府知事のごあいさつにあるような多様な取り組みを推進しています。実は90年代以降の日本では、欧米を参考に、地域社会の活性化に積極的に関与する“公共”ホールが各地で開館しています。この府立文化芸術会館にとって演フェスは、単なる“公立”施設から脱皮して“公共”的性質を獲得していく原動力の中核として、府民や関西一円の人々を巻き込む多彩なプログラムを全方位的に取りそろえているのです。

第41回演フェスは、新たな10年に向けた挑戦の第一歩です。皆さまにはぜひご参加いただき、演劇の楽しみを共有していただければ幸いです。

【京都府立文化芸術会館について】

京都府立文化芸術会館は、京都府開庁100周年記念事業として1970年に開館しました。その後、今日に至るまで、京都における文化芸術活動の中核施設として、演劇・古典芸能・舞踊・音楽等の上演に適したホールや、美術・工芸等の作品を展示するための展示室のほか、落語や狂言等の小規模な古典芸能の公演でご利用いただける和室や会議室、録音室を備えるなど、舞台芸術をはじめ、様々な文化芸術の創造活動に対応できる複合施設として、非常に多彩なジャンルと幅広い年代の皆様にご利用いただいております。



展示室 和室
客席と舞台の一体感に定評があるホール。

【開館50周年記念事業(ホール企画)予定ラインナップ】

- 1月8日[水] ぶんげい寄席
- 2月8日[土]~16日[日]
第41回Kyoto演劇フェスティバル
- 2月29日[土]・3月1日[日]
創造音楽劇「あしたの森のチョコ」
- 3月6日[金]・7日[土]
文楽京都公演
- 3月21日[土] 狂言五笑会(特別公演)
- 7月中旬~8月中旬
合同創作人形劇
- 10月30日[金]~11月1日[日]
イッセー尾形 京都公演2020
- 11月7日[土] 上方落語勉強会(特別公演)
- 12月7日[月] 白石加代子「百物語」シリーズ アンコール上演

右のラインナップは、二〇一九年十一月時点の予定で、日程や内容につきましては、変更となる場合があります。予めご了承ください。

【実行委員会】

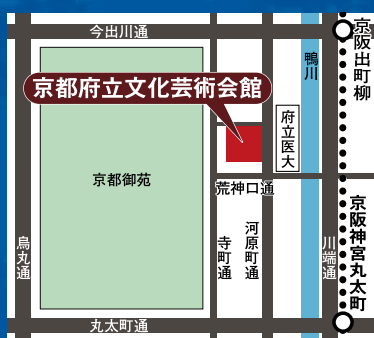
第41回Kyoto演劇フェスティバルは下記のメンバーにより企画・運営が行われております。

- 委員長 椋平 淳 (大阪工業大学教授・京都府立文化芸術会館シアターアドバイザー)
- 委員 岡田 尚文 (京都西陣創造集団アノニム)
- 岡田 路子 (大阪大学演劇学研究室助教・エイチエムピー・シアターカンパニー)
- 木原アルミ (パークース)
- 沢 大洋 (日本学生演劇プラットフォーム 代表理事)
- 高杉 征司 (俳優/サファリ・P)
- 田辺 剛 (下鴨車窓)
- 中田 達幸 (俳優・演出家)
- 小林 洋介 (人形劇回京芸)
- 中村さとし (京都児童青少年演劇協会)
- 森井 有子 ()
- 小谷 常 (京都人形劇センター)
- 中むら 昌タカ ()
- 山口 正樹 (京都府文化スポーツ部 文化芸術課 課長)
- 雨宮 章 (京都府立文化芸術会館 館長)

京都府立文化芸術会館

〒602-0858 京都市上京区河原町通広小路下ル

☎075-222-1046(受付時間 9時~18時) [公式HP]http://www.bungei.jp/



- 【JR京都駅から】市バス4系統・17系統・205系統
【四条河原町から】市バス3系統・4系統・17系統・205系統
- 【三条京阪から】市バス37系統・59系統
【京都バス】21系統・41系統にて京阪「出町柳」駅經由 ※いずれも「府立医大病院前」バス停下車すぐ前
- 京阪電車/「出町柳」駅もしくは「神宮丸太町」駅から徒歩約12分
- ※駐車スペース(有料150円/30分)に限りがございますので公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。